

LS14地方

受験番号

2012年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

## 専門論文試験 刑法・刑事訴訟法

(120分)

### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページまでである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は刑法と刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 刑法

### 問題

次の事例を読んで、下記の設問に答えなさい。

#### [事例 1]

Xは、自動車を運転中、過失で歩行者 A を轢いてしまった。Xは、重傷を負った A を最寄りの病院に運ぼうと思って A を助手席に乗せて発進したものの、途中で事故の発覚をおそれて、どこか適当な場所に A を捨ててしまおう、そして死んでも構わないと決意し、病院とは全く別の方向に向かい約 20km ほど走行しているうちに、A は車内で出血とショックのため死亡してしまった。

#### [設問 1]

判例の考え方に従って、X の罪責について述べなさい。

#### [事例 2]

Xは、帰宅途中の A 女を人気のない空き地に連れ込み、強姦しようとした際、A 女が抵抗するので、A 女を押し倒して馬乗りとなり、A 女の頸部を約 3 分間もの間、力一杯絞りあげているうち、A 女は動かなくなり、死亡してしまった。その後、Xは、強姦する意思をなくし、その場から逃げようとしたが、その際、A 女の持っていた財布を奪って逃げた。

なお、Xは、A 女の首を絞めているとき、ひよっとすると死ぬかもしれないが死んでも構わないと思ったと供述している。

#### [設問 2]

判例の考え方に従って、X の罪責について述べなさい。

以上

## 専門論文試験 刑事訴訟法

次の項目、用語ないし原理などについて、簡潔に説明せよ。

- (1) 逮捕前置主義とはなにか。
- (2) 起訴前に捜査機関が行なう「鑑定」とはどのようなものか。誰がどのような方法でなにをすることができるのか。
- (3) 「訴因」の意義と内容について述べよ。その際、「事実記載説」にも触れよ。
- (4) 医者の診断書の証拠能力について、判例に従い、説明せよ。
- (5) 相対的控訴理由とはなにか。